



第37号2016年町田

**俊風会
NEWS**

**おおさか維新の会
伊藤しゅんすけ
Shunsuke Ito**

〒194-0021 町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
〒206-0002 多摩市一ノ宮 4-1-1 N2ビル 2F
TEL 042-375-5500 FAX 042-375-3873

Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>



おおさか維新の会は、

「企業・団体献金の禁止」を実行！

甘利大臣が辞任し、「政治とお金」の問題が昨今も続く中で、その問題の根幹は、未だに政治家が、企業・団体から献金を受け続けていることにあります。

かつて、1976年の田中角栄元首相ロッキード事件や1988年90人を越える政治家に未公開株を譲渡されたリクルート事件、1993年ゼネコン汚職事件、1992年佐川急便事件など繰り返される汚職事件を背景に、1994年、企業・団体献金禁止を念頭に、国民1人あたり250円の負担をお願いして政党助成金制度が出来ました。しかし、その後も今に至るまで自民党も民主党も企業・団体献金を受け続けています。その結果、2004年の日歯連閣献金事件や、2008年西松建設事件、或いは、今回の甘利大臣の大臣辞職に至っています。

おおさか維新の会は、「企業・団体献金の禁止」を決定し、既に実行しています。それぞれの政党が自主的に実行できることですが、自民党も民主党も未だに政治家が自分に甘い政治を続けています。「おおさか維新の会」は、たとえ他党がやらなくても自主的に党内で実行し、国民の信頼を取り戻したいと考えています。

町田・多摩の事務
所にもお気軽にお
立ち寄り下さい！



若い世代に先送りしない、2050年を見据えて、今。— 2050年、やがて世界人口

は、90億人を越えます。その時、日本人口は、現在の1億2800万人から9700万人と3割以上も減少します。高齢化率(65歳以上)が40%、2.5人で1人を支える時代になります。現在、生活保護受給者が約200万人になり、介護離職者が10万人を越え、子供の相対貧困率は、過去最悪の16.3%、6人に1人が貧困です。確実に所得格差が広がっている現状です。現行の社会保障制度が設計されたのは1960年代の人口が増え続けている、最も元気な時代。時代に合わなくなった諸制度を見直し、もう一度、格差の広がらない成長戦略を進めるべきです。保育や幼児教育、高校の無償化など、特に若い世代に思い切って投資をして、未来の社会保障を支える仕組みを作るべきです。

年金制度を賦課方式から時代にあった積立方式(自分で納めたものを自分で受け取る)へ

人口が増え続ける時代に作った年金(賦課方式)制度は、少子高齢化や人口減少に対応できず、すでに破綻しているといっても過言ではありません。今、30代の方々は、納める年金よりも、もらう年金は、約マイナス1700万円に、20代の方々は、約マイナス2400万円になると言われています。

財政再建—若い世代に赤字財政を先送りしない。— 1060兆円を越える赤字財政

は、若い世代に先送りしているだけです。金利だけでも1時間で11億円、1日で260億円も借金が増え続けています。若い世代の皆さんが、投票に行ってもらえれば、政治は必ず変わります。自分達の世代に向けた政治に転換をして頂きたいと思います。

消費税10%(増税)する前に、身を切る改革を！— 今、軽減税率が話題になって


いますが、そもそもいま、消費税を10%に増税する事が日本の景気・経済にとって必要なのでしょうか。

まずは、国会議員や公務員の身を切る改革、国の統治機構改革など、これまで出来なかった赤字体質の根本的構造を変える必要があります。

大阪で進めてきた改革(下記の表の通り)は、国民に負担を求める前に、徹底的に政治家や公務員、役所が自ら身を切る改革を実行し、捨て身で挑戦し続けてきました。過去11年連続赤字だった大阪は僅か4年間で黒字に転換しました。いよいよ今度は日本全体で実行します。

身を切る改革を大阪からオール日本へ！ — 国政では、自民党も民主党も選挙のたび

に議員定数を減らすと言いながらも、事実上、1人も減らせなかった。その上、東日本大震災の復興もままならないのに、国会議員1人あたり月額26万円の給与を上げ、国家公務員総人件費も約4000億円以上も上げた。それでいながら国民には増税負担を押し付けてきました。そんな自ら身を切る覚悟すらない政治家や既成政党に、赤字国債1060兆円を越える「財政再建」、権限や財源を地方に移譲する「地方分権(道州制)」、「公務員制度改革」等、出来るとは到底考えられません。

<p>～大阪はどんな身を切る改革をしてきたか～</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市長自らの報酬 42%カット、退職金はゼロ ② 府議会定数 20%削減(報酬15%カット) ③ 府議報酬 30%カット実現 ④ 市の職員 30%削減(6152人削減) ⑤ 赤字だった市バス運転手給与 960 万円を引下げる等単年度26億の赤字を→10億黒字とした ⑥ 天下り先だった外部団体を 72 団体→18 団体 ⑦ 競争性のない随意契約を一掃 決算ベースで黒字財政を実現 等々 	<p>～おおさか維新の会は、今～</p> <p>国会議員年間 1200 万円の文書通信交通滞在費 使途公開を実行しています。 (領収書なし報告なし税金なしの国会議員歳費)</p> 
---	---

- ・原発に依存しない日本。新しい産業を育てて(再生可能エネルギー等)世界のリーダーに。
「原発」は、未だ最終処分場も方法も決められず、安全でもなく安価でもない。
- ・明治以来 140 年続いてきた「中央集権国家」から「地方分権」へ(道州制等)統治機構改革を実現。
地方交付税交付金を廃止、消費税を地方税化。憲法改正で道州制、首相公選制、衆参一院制の実現
- ・安保健法、違憲の政府案、自衛隊の歯止めなき海外派兵に反対。

町田

- ・43万人の健康と命を守る。町田に救命救急病院を
- ・小田急線の町田・相模原駅への乗り入れ早期実現へ。
- ・北部丘陵を首都圏一魅力ある都市公園に。
- ・相原の横浜線と町田街道のアンダーパス実現(渋滞解消)。
- ・東名横浜町田インター町田立体事業、進行中
- ・鶴川駅南側駅前広場の実現と橋上化で渋滞解消、急行駅に。
- ・多摩センター駅・鶴川駅・東急こどもの国駅をモルルールで結ぶ構想

- ・1979年8月5日 町田市生 町田市在住
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

伊藤しゅんすけプロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点。
第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。
再び挑戦を続ける!

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:
ご住所:

TEL:

FAX:

MAIL: